

apo

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By Career Power

株式会社 キャリアパワー

Vol. 71
2015.10 AUTUMN

積極的なアウトソーシングの導入により、図書館の改革に成功 今後もアウトソーシングの可能性を見ていきたい

早稲田大学

図書館 事務副部長

莊司 雅之様

キャリアパワーは、東京に進出して14年目を迎えることとなりました。今回は、弊社が関西から東京に進出した際にお取引を開始させていただいた大学のひとつである、早稲田大学図書館事務副部長の莊司雅之氏にインタビューをさせていただきました。

早稲田大学様の アウトソーシングに関する 基本的な考え方について

本学では、創立150周年を迎える2032年にあるべき姿(ビジョン)を“Waseda Vision 150”として作成し公開しています。本学の教旨「学問の独立」、「学問の活用」、「模範国民の造就」は「世界へ貢献する礎」、「世界へ貢献する道」、「世界へ貢献する人」と読み解いて教育と研究の体制整備の原点としてビジョンを作成しています。このビジョンの実現に向けて、現在13の核心戦略とそれを実現するためのプロジェクトを進めています。図書館の運営もこの核心戦略、プロジェクトの方針とリンクするよう意識しています。

核心戦略のひとつに「教職員の役割と評価の明確化」がありますが、アウトソーサーにお願いすべき業務が図書館には多くあると思います。実際、本学の図書館・図書室では、キャリアパワーさんが東京に進出する以前からアウトソーシングの導入を始めましたし、アウトソーシングが可能と判断した業務は、順次お願いしています。現在では、カウンターでの貸出・返却、利用者対応、ILL業務、蔵書点検、配架業務、図書・雑誌の登録業務、その他多くの業務をアウトソーシングしています。

また、本学ではアウトソーシング出来る業務と、



Top Interview

巻頭インタビュー

アウトソーシング出来ない、あるいはすべきではない業務を明確に線引きしています。時として、アウトソーシングは「悪い」という考えをお持ちの方もおりますが、アウトソーシングは「悪い」とは考えていません。明確な線引きや判断基準をしっかりと行い、この基準に則ってアウトソーシングを今後も進めていきたいと考えています。

アウトソーシングが難しいと 考えている業務の判断材料

代表的なものとしては、「選書業務」、「レファレンス業務」があります。当館の深澤館長も述べていますが、早稲田にはどのような学生がいて、どんな研究をする教員を抱えているのか、そのためにどのような資料が必要なのか、現在、どこにどのような資料を所蔵しているのか、その

ようなことを戦略的に考えて進めるのが選書業務です。また、レファレンス業務は、相談相手の学生や教員の話をじっくり聴き、相手のレベルに合わせて資料などを紹介する業務です。これらの業務は、学生の教育と教員の研究という本学の根幹に関わる部分であり、専任職員の業務であると考えています。

業務委託への選択とメリット

本学では、主に夜間学部に通う学生を対象とした学生職員制度があり、かつては図書館にもかなりの学生職員がおりました。しかし、本学の夜間学部が昼間学部に移行したことで、この制度がなくなり、その代わりとして「派遣」での人材配置を行っていました。ところが、派遣法の改正により、図書館業務がほぼ「自由化業務」であること、また、期間の制限も発生するなどの問題があり、業務

委託を選択しました。業務委託では、一定の専門知識が継承されていくことも期待できます。この点も業務委託に比重を移した理由のひとつです。

さらに、人員管理の面でも大きなメリットを感じています。以前は、アルバイト等の直接雇用も検討しましたが、採用に関する手間や、急に勤務できなくなった人の代わりを探して埋めることなど、図書館業務ではない専任職員の仕事が増えてしまいます。委託の場合は、業務範囲の調整やフレキシブルな人員配置、シフト等が可能です。つまり、人員管理面、柔軟性に業務委託のメリットを感じています。

委託導入後の成果

実際に委託を導入することで、導入前では各図書館・図書室ともにバラバラであった運用を標準化させることができました。また、専任職員の勤務形態にとらわれることなく、開館日数の増加や開館時間の延長も実現できました。委託後は、ほとんどの図書館・図書室で月曜日から金曜日の9時から22時まで開館・開室しています。

また、専任職員の時間が確保できたことで、学生への学習支援などに時間を割くことができました。専任職員だけでは、現在のような長時間にわたる開館・開室、また新たなサービスの提供ができないのは明らかです。

学生の図書離れに関して

本学の学生の図書離れは、世間が言うほどではないように感じます。これだけネット上に情報があるにもかかわらず、貸出冊数は大きく減少してはいません。しかし、大学周辺の書店での書籍購入はかなり減少していると聞いています。もっとも、オンライン書店の存在や電子書籍も進んでいるので、様々な角度からの検証も必要であると思います。

また、学生は学内に新しい図書室がオープンすると、そちらに流れることもあり中央図書館の利用者は減っています。それに対しては色々な

取り組みをしています。新入生歓迎のイベント、ビブリオバトル、教授によるブックトーク、学生ボランティアによる「脱出ゲーム」等、職員がメインとなり取り組むものと学生主体のものを実施しています。

今後の図書館としての取組

近年、アクティブラーニングというキーワードの下、図書館内でディスカッションできるスペース、ラーニングcommonsが活発に議論されてきました。しかし、ラーニングcommonsは図書館内にある必要はなく、キャンパス内のどこかにあれば良いわけです。逆に静かなスペースは、図書館の中にしかありません。その確保もとても重要だと考えています。また、出版される本の寿命はどんどん短くなっています。少し前に発行された本を書店の書棚から手にとり、確かめてから買うのは難しくなっています。また、1枚のレポート作成のために1冊の本を買うことは学生には厳しい出費でしょう。そこにも図書館として応えていきたいと思っています。

キャリアパワーに期待すること

図書館司書を目指し、司書課程を履修した司書資格者は、年に1万人ぐらい誕生していると聞いています。しかし、就職先としての図書館は、とても少ないという現実があります。図書館で仕事したい専門知識を持った人達を、キャリアパワーさんが雇用、確保し、その人達の能力を必要としている所で十分に発揮させるという重要な役割を、キャリアパワーさんは担っているのではないのでしょうか。

また、大学の専任職員は、全く違う部署から異動で図書館へ移ることが珍しくありません。図書館では専門的な知識を必要とされることもあるので、キャリアパワーさんの専門的な知識、また他業界の情報をもとに多岐に渡ってのご提案をいただくと、双方の新しい世界が生まれる可能性もあるかと思っています。

最後に荘司様のこれまでのご経歴

早稲田大学に入職後は、コンピューター系の部署の配属が多く、研究教育系システム、ネットワーク、教務事務システム、人事システム、図書館システムなどを手掛けました。コンピューター系の部署に配属していた頃は「昭和」でもありましたので、徹夜もめずらしくありませんでした。しかし、カリフォルニアでの海外研修、また、アイスランドやスイスなど海外への出張も多く、忙しいながらも今から思えばとても充実した日々でもありました。その後、図書館の学術情報課を経て管理職として現在に至ります。

趣味は、、、ありませんとこの場では回答させていただきます(笑)。



■ Information

● ご存知ですか？ キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるところ。その思いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の中に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その思いを留めてほしい。ずっと変わらぬ思いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

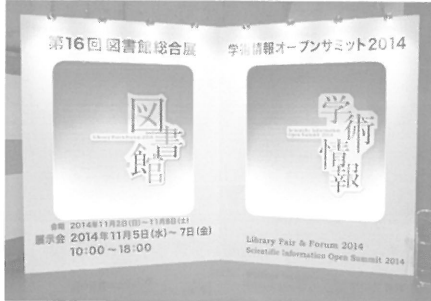
ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 Email info@careerpower.co.jp

■ Information

図書館総合展のご案内

第17回図書館総合展に出展 キャリアパワー主催フォーラムも開催します



2015年11月10日から12日の三日間、パシフィコ横浜で開催される第17回図書館総合展にキャリアパワーが出展します。この図書館総合展は図書館業界最大のイベントで、全国の大学・高校・公共・民間の図書館関係者が来場されます。弊社では、会場内に企業ブースを出展し、さらに弊社主催のフォーラムも開催します。ぜひ、会場に足をお運び下さい。

■第17回図書館総合展 2015年11月10日~12日 会場:パシフィコ横浜

キャリアパワー主催フォーラム開催概要

ラーニングコモンズの本質に迫るPARTI

~実現すべき姿とは?そのための課題の見つけ方について~

大学図書館の改革の一つとして「ラーニングコモンズ」が大きなテーマとなっております。近年、多くの大学では図書館内に学修支援のためのスペースを確保し、充実した機器、什器を備えています。しかし、「ラーニングコモンズ」の本質は「学生が主体的に考え、行動できる人材育成」であり、ハコが出来た後、図書館員として「何に取り組みば人を介した支援が出来るのか」と悩んでいることをよく耳にします。

PartIでは「課題の見つけ方」に焦点を当てた内容としています。自館の課題が何であるのか?この課題を「見つける」ことから取り組むべき学修支援の姿が見えてくるのではないかと考え、このフォーラムを開催いたします。

- 日時:11月10日(火)13:00~14:30
- 講師:塩瀬隆之様(京都大学総合博物館准教授)
- 定員:80名
- 会場:第8会場

ラーニングコモンズの本質に迫るPARTII

~立命館大学・龍谷大学2大学による取組構想・事例~

前日のPartIでは「課題の見つけ方」に焦点をあてたフォーラムを開催しました。

引き続きPartIIでは最新の機器、また学修支援の環境がこの4月に整えられた立命館大学様・龍谷大学様をお招きし、ハコが出来た後の図書館としてどのような支援ができるのか?各大学様の「学修支援の在り方」「課題」「今後の構想」について事例を交えて発表していただきます。「ラーニングコモンズ」の本質である「学生が自主的に考え、行動できる」人材育成を図書館として出来る今後の仕掛け作り、取組のヒントになるフォーラムを開催いたします。

- 日時:11月11日(水)13:00~14:30
- 講師:近藤茂生様(立命館大学図書館次長)／神牧宏次様(龍谷大学深草図書館課長)
- 定員:150名
- 会場:第1会場

キャリアパワー企業ブース概要

~今年も企業ブースに出展いたします~

今年の企業ブースでは、弊社と日頃お取引をさせていただいております大学図書館様の取組事例をパネルでご紹介いたします。

多くの方に今後の図書館運営のお役に立てればと考えておりますので、是非ブースにもお立ち寄りください。



<お申し込み>

弊社HPの専用画面よりお申込みください。⇒<http://careerpower.co.jp/business/libraryfair2015/>

※参加予約受付は、先着順とさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ先 : 075-341-2929 キャリアパワー図書館総合展事務局/八太・霜田

■ Career Study

ココが知りたい派遣法

「適正な業務請負とは？」

「適正な請負とは？」という標題にさせていただきましたが、ご承知のとおり労働者派遣事業には派遣法という法律がありますが、請負事業には請負法という法律はありません。

では、法律の規制を受けないのに適正でない(違法)とはどういうことなのでしょう？

請負事業は、前段で述べましたとおり法律の規制を受けませんので、極端な話、業務内容や業務受託期間などについては注文主(発注者)と請負事業主(受注者)の契約当事者間で原則として自由に定めることができます。

しかし、請負事業主には、請負事業を遂行するにあたり雇用した労働者に対して、派遣法、労働基準法、職業安定法等の法律の規制を受けます。

よって適正な請負であるポイントは、注文主が請負業者の労働者に直接指揮命令をしてはいけないという点にあります。労働者に直接指揮命令をしないとできないような仕事なのであれば、請負契約ではなく労働者派遣契約をしておく必要があります。

世の中で、いわゆる偽装請負と呼ばれるものの殆どは、契約上では請負契約としておいて、現実には発注者から請負事業主の労働者に直接指揮命令を行なうもので=違法な労働者派遣事業、もしくは労働者供給事業(法律で一部を除き禁止されている)に該当することになります。

適正な請負であると言い切れるためには、下記の告示で示されているいくつかの条件を全てクリアしていることが必要となります。

◎昭和61年厚生労働省告示第37号発出:「労働者派遣事業と請負により行なわれる事業との区分に関する基準」

また、この基準に関するQ&Aは第2集まで厚生労働省のHPで公開されています。

参考:厚生労働省HP

http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gigi_outou01.html

講師	
事業本部 法令順守委員会 西澤 淳	行政監査対応が豊富で、実務経験を有している弊社コンサルタント。派遣法や労働法、労働問題や派遣監査に精通しているキャリアパワーの法務担当でもあり、モットーは「元気が一番」。

● 法令順守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行いながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守ができていないかの再チェックを行っています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての方々に、よりいっそうの満足いただけるよう活動を行ってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール **0120-154-450** にお気軽にお問合わせください

東 京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F
大 阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F
名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F
京 都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通烏丸西入東塩小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F
滋 賀：〒525-0025 滋賀県草津市西浅川1-1-3 リバティハウス4F
システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911
TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268
TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511
TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828
TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200
TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行
株式会社 **キャリアパワー**

企画/制作
株式会社 **キャリアクリエイト**

2015.10.15発行

■ Information

危機管理研修実施のご案内

「立命館大学様」にて危機管理研修を実施

キャリアパワー学術事業部ではお蔭様で多くの図書館の委託運営をしております。

弊社は「図書館業務はサービス業」という理念のもと、「人」による快適な空間作り、満足いただけるサービスの提供を重点におき運営しております。この「サービス」の根底には利用者の「人命」「財産」を守る、安全確保が大前提にあると我々は考えております。

今回の危機管理研修は大学図書館で運用している「エマージェンシーマニュアル」を基にグループワーク形式で実施しました。このグループワーク形式の研修で今まで疑問に思っていた事、またマニュアルが分かりにくい箇所、またもっとこのように改善するといいののではないかと活発な意見も有り、イメージしながら解決法を見つけ出していくという良い効果が出た研修と考えております。

今後、この研修を各図書館委託現場でも実施し利用者の安全確保に努めて参りたいと考えております。

<立命館大学衣笠図書館にて>



講師:キャリアパワー
事業本部取締役 法令遵守委員会
西澤 淳

スタッフアンケートより

- マニュアルに目を通すことはしていたが、深く、その場に居合わせた時の自分の動きを考えたことがなかったのがとても良い機会となった。
- 疑問に対して実際どのようにすればよいか一歩踏み込んで考えることができた。

■ Information

無料労働者派遣法／労働法講習会のご案内

改正労働者派遣法が9月30日に施行されました。

派遣法改正への対策及び疑問を弊社、法令遵守委員会が解消いたします!

お問合せ・ご質問を24時間受け付けております。また、セミナーの開催のご依頼も同時に受け付けておりますので、是非、お気軽にお問い合わせください。

今なら『無料』で講習会を実施しております

【ご要望にあわせて講習会内容を事前にお打合せさせていただきます】

●場所 ●時間 ●内容 ●参加者 ●目的など

【行政監査対応が豊富で実務経験を有している講師】
派遣法や労働法、また労働問題、派遣監査などに精通しております。

〈まずはお気軽にお問合せ下さい。〉

問合せ 営業担当まで



■ Information

学術サポートセンターのご案内

Career Power 学術サポートセンターのご紹介

学術サポートセンターは、豊富な図書館実務経験と専門知識を有したトレーナーで構成されている専門技術部門です。図書館の委託化が進む昨今、委託範囲も広域になり、高い技術も求められております。弊社では、委託運営におきましては、図書館スタッフのスキルアップ研修が非常に重要と考えております。

学術サポートセンターでは、トレーナーによる委託現場での業務指導をはじめ、スキルアップのための研修等を実施しております。また、各委託現場での早期の問題把握、改善、解決をすることも重要な役割の一つとしております。その他、就業中のスタッフがライブラリアンとして将来のビジョンを描けるように、個別面談の実施やアドバイスも行っております。

スタッフが目標に向かって積極的に業務に取り組んでいけるよう、学術サポートセンターがバックアップして参ります。

【学術サポートセンター】図書館研修、個別業務指導風景



■ Information

『学びの図書館紀行』発刊・『Facebook』のご紹介

学びの図書館紀行

このキャリアパワー「学びの図書館紀行」では多くの話題の図書館等をご紹介したいと考えております。そして我々が学び、見識を高めることでプロとして今後の図書館運営に活かしていきたいと考えております。

第1回は岡山県立図書館です。是非ご覧ください。

<http://154450.com/manabi/>

学術Facebook

学術関係のニュースを発信しております。図書館研修や弊社の取組内容、委託先図書館の情報など。

是非、一度ご訪問頂ければと思います。あわせて「いいね!」も押して頂けると幸いです。

<https://www.facebook.com/careerpower.jp>

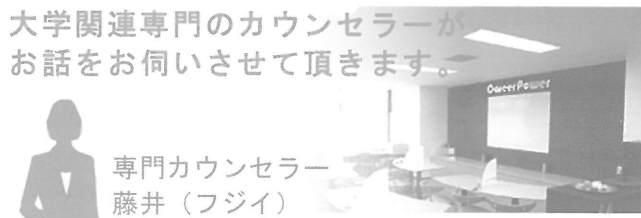
■ Information

はたらく皆様へのサポート

『お悩み相談室』にてお電話下さい

— 大学で事務や図書館で働きたい方へ！ —

「大学で事務や図書館のお仕事をしたいけど、どうすれば...」とお悩みを抱えた方、いらっしゃると思います。そのお悩みを弊社、専用カウンセラーがお話を伺いさせて頂き、皆様の転職活動のご支援をさせて頂いております。それが「お悩み相談室」です。大学での派遣や業務委託の「パイオニア」である弊社では、専門のカウンセラーが皆様と二人三脚でキャリア形成をご支援出来ればと考えております。「一般企業から大学へのキャリアチェンジを考えている。」という方や「大学では未経験でもお仕事はできるのかな?」というご相談など、気になることをお気軽にご相談して頂ければと思います。大学での人材サービスに精通している弊社だからこそ、皆様お力添えできることがあると考えています。お気軽にご連絡お待ちしております。



『お悩み相談室』の連絡先

株式会社キャリアパワー お悩み相談室

TEL 0120-454-450 E-mail fjih0304@careerpower.co.jp 担当 藤井(フジイ・女性)まで